

# 船坂新聞

ホームページ <http://funasakashinbun.news.coocon.jp/>

2012.3.10 第42号

発行：船坂新聞倶楽部

問い合わせメールアドレス [funasaka.moriagetai@gmail.com](mailto:funasaka.moriagetai@gmail.com)

ビエンナーレ  
からお知らせ♪

## 展示場所、作家宿泊所などを探しています

ビエンナーレに向けての第2回役員会を2月19日に開催し、原案作りの協議を進めています。今年のビエンナーレでは、次のような項目について、地域の皆様から公募をしようという案が検討されています。

- 1、展示会場の募集案：「ここに作品を展示したらどうか」「あそこにこんな作品が展示されたらいいな」「私の土地・家屋を展示場に使ってもらっていいよ」などの提案があれば、ぜひ推進委員までお寄せください。
- 2、ランチ調理者の募集案：会期中の土日に、ランチルームで来場者向けのランチを出したいと計画しています。そのために、土曜調理チームと日曜調理チームに分けて編成し、500円程度のランチを提供できないかと検討中です。各チーム数人ずつの有償ボランティアの募集を検討しています。
- 3、作家宿泊所の募集案：開会の1～2ヶ月前から、作家さんたちが泊り込みで作品制作に来られます。その際の宿泊所の提供(有償)を募集します。「空家を貸してもいいよ」「部屋を使ってもらって作家と交流してもいいよ」というご提案があれば、ぜひ推進委員までお寄せください。



## 朝日新聞・アサヒアートフェスティバルから助成決定

役員会では、各方面に助成金の申請をしています。いずれも高い倍率です。その中で、今年新たに、朝日新聞文化財団とアサヒ・アート・フェスティバルから助成決定の連絡がありました。広報活動の援助や全国各地芸術祭との交流も期待できます。

また、西宮市が2012年度に「まちたび博」を本格実施しますが、その中に船坂ビエンナーレも組み込み“西宮市を全国に宣伝し、観光都市にしていきたい”との動きもあります。

以上のような原案を3月の役員会でさらに煮詰めた上で、4月に開催する第1回推進委員会で、今年のビエンナーレの企画書を決定する予定です。

## トマトジャムが“西宮のいいもの、”に認定

西宮市主催の“西宮のいいもの発掘発信事業”において、『文孝さんのこだわりのトマトで作ったアリスの手作りトマトジャム』が認定されました。西宮市ホームページ等に掲載される予定です。



Kawahara Kobo



株式会社河原工房  
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1  
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587  
URL <http://www.omoiookatachini.jp>  
e-mail [info@omoiookatachini.jp](mailto:info@omoiookatachini.jp)



Kobako Vege  
こぼこベジ

〒662-0978 西宮市産所町3-24  
OKKO陶芸工房2F  
TEL&FAX 0798-26-3618  
e-mail [kobako.design831@gmail.com](mailto:kobako.design831@gmail.com)



セブン-イレブン  
西宮船坂店

〒651-1423 西宮市山口町船坂419  
電話 078(903)1090

目指せ、沢村忠!!  
(今は魔装斗だよ...)

## キックボクシングでリフレッシュはいかが？

今年の1月から、善照学園の中高生を中心に、旧船坂小学校の体育館にてキックボクシングの活動をしています。

活動のきっかけは、西宮警察少年課課長であり、キックボクシングの指導者もされている木村さんからの「子どもたちの体力があり余っているのであればやってみないか？」とのお声掛けからでした。

ストレス解消、ダイエット…目的は様々ですが、キックボクシングに興味を持った児童や職員が集まり、定期的に取り組むことになりました。今後も月に1回、土曜日の夜7時から約2時間、自由参加という形で活動していく予定です。



コーチには木村さんと西宮警察少年課の三浦さん、そして元キックボクサーの志波(しば)さんがあたってくださいています。

練習後にはよい汗をかき、爽快な気分になります。また、スポーツを通して地域との関わりがより深まることも期待しています。

興味を持たれた方は一度参加されてはいかがでしょうか。

(善照学園 中山先生)

※編集部注：3月は17日(土)の19時から実施予定。まずは見学からでもいかがでしょうか(^\_^)



目指せ、荻村伊智朗!!  
(今は福原愛だよ...)

## 卓球大会に参加してみました～



2月5日の日曜日。SC21主催の卓球大会に参加してきました。「初めての試みやし、たぶん人が少ないやろなあ。ひょっとしたら一人で壁打ちかも……」と思っていたら、体育館の中は結構な人数。卓球だからか、男性よりも女性のほうが圧倒的に多かったです。若い人の姿はほとんどいなかった……；△；I

準備運動の後、今日のためにわざわざ来られた指導員3人による初心者向け卓球レクチャー。わあ、船坂の行事としては何だか本格的だぞ！ それでは実際に打ってみましょうとラリーの開始。実は私、卓球経験者で張り切ってましたが、同じ経験者の6班芦田さんはなんとマイラケット持参。う～ん、意気込みが違います 材-



相手を変えたり、フォア・バックといろんなラリーをした後は、いよいよ試合形式。人数が多いのでほとんどダブルスで行われてましたが、楽しそうな声がこちらこちらで響き渡っておりました。私はといえば未経験者の方にスマッシュ決めて得意がるという、空気読めない中年丸出しで楽しんでしまいました(;^\_^

「すごく面白い。卓球クラブあったらいいなあ」との声も上がった卓球大会。とっても楽しかったです。(中西 学)



078-904-3843

Tel: 078-904-3843 西宮市山口町船坂710-4

墓石のことならお任せください



株式会社 古材問屋

651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂280

Tel: 078-903-5314 Fax: 078-903-5319

http://www.kozaidonya.com

Daddys Bakery



〒651-1423 西宮市山口町船坂90

TEL: 078-907-3920

船坂民話再掘(3)

## 『御前墓の話』

与志朗

船坂墓地の入り口に「御前墓諸霊」の墓碑が建っています。故小桜和子氏の建立(昭和62年)で26人の賛同者名が彫られています。ある夜、小桜氏の枕元に「霊を是非祀ってほしい」と現れ、賛同者を募って建立されたと聞いております。どのようなお告げであったのか、小桜氏がすでに故人となられておりますのでわかりません。

もともと、御前墓と伝えられている場所は、清水谷道(船坂峠登山道)の西宮北有料道路下のBox型トンネルを出てすぐ西側の山林の中にあつて、こんもり盛り上がった山地の麓です。

墓跡の東南前に小さな池(御前墓池)があります。池は灌漑用で、御前池の西側にも3つ(計4つ)あり、今も水はBox型トンネルの下へ流れ込んでいます。船坂村地誌(明治17年刊)には「御前墓池、村ノ南方字大ふくらニアリ、東西九間、南北十七間壺尺、周回四拾壺間壺尺、積面四畝壺歩、字平井ノ用水トス、田式反歩ニ灌漑ス」と記されています。



挿絵：橋本綾香

昔、「御前様」と呼ばれる身分の高い都の女人が、病を得て有馬の湯に療養に赴く途中、この地で帰らぬ人となり、その御前様の供養墓が御前墓として伝わったのではないかと。

別説があります。

源平の戦いに破れた平家の武士が逃れてきて、隠れていたのが、源氏の追っ手に見付かり殺され、池は血の海になったといわれています。村人は哀れみ、屍体を葬り、墓を建て、亡くなった人々を供養した。

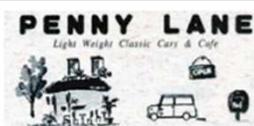
又、平家の落人で御前様と呼ばれる身分の高い女人が亡くなり、その御前様の墓があつて、それが御前墓として伝わったといふのです。

ただいま、オペラコンサート  
を企画中です。お楽しみ



要：電話予約

Tel: 078-903-1172



ガレージ&カフェ ペニーレーン  
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206  
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340  
<http://www.penny-lane.jp/>



株式会社 西宮高原ゴルフ倶楽部  
〒651-1423西宮市山口町船坂2013  
TEL (078) 904-3741 (代) FAX (078) 904-3811  
<http://www.nishinomiyakogen-gc.com>



## 船坂コミュニティからのお知らせも 皆さんの未来に祝福を！

コミュニティセンターを開設して約1年となります。平成24年3月。今年も「船坂っ子」たちが日・水・金・土開放しています。山口小学校・山口中学校を卒業いたします。各自で飲めるようコーヒー・紅茶等を100円で準備学、高校、就職。いろいろな未来があって、しています。個人・団体でも使用できますが、団体の安全もきつとあるでしょうが、でも大丈夫！！場合事前に管理事務所まで申し込みしてください。自分を信じて、一歩ずつ前に進まれることを利船坂の人たちは心から願っています。

1月より第4日曜日に船坂のそばでランチをしています。なかなかの好評です。まだ食べたことないという方もご賞味ください。

3月11日(日) 12:00 船坂ランチ  
13:30 歌声カフェ  
3月25日(日) 12:00 蕎麦ランチ  
13時過ぎ 映画カフェ  
(吉永小百合・笑福亭鶴瓶主演「おとうと」予定)

## 卒業おめでとう

山口小学校 卒業  
上中秀太、成尾遥香、善照学園2人

山口中学校 卒業  
坂本幸司、八濱悠祐、善照学園5人

## 船坂文芸サークル「趣味の作品展」

○3月5日(月)～4月27日(金)  
平日10時～15時  
○JAふれあい会館  
書・絵手紙・写真・東京タワーなど  
どうぞご覧ください。(船坂文芸サークル)



calendar(3/10~4/14)

3/10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	4/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
自治会定例会	船坂歌声クラブフェ	野球部試合	野球場	野球場	野球場			船坂新聞編集委員会	山口小学校卒業式						船坂映画部	野球場				たんぽぽ読み聞かせ								船坂歌声クラブフェ	山口小学校入学式	山口中学校入学式				自治会定例会	

### 船坂のサークル活動

バレーボール グランドゴルフ  
水 19:30 水・金 13:30  
テニス 30分  
土日 9:00 月 10:00  
水 9:30 火 19:30  
ゴルフ  
年3~4回

1月中旬早朝、家の前の竹藪からうぐいすの鳴き声が寝床に聞こえてきた。2月に入って20年ぶりという寒波が襲来し、3日早朝のわが家の外気は-8.2℃で大変寒かった。その後、うぐいすの鳴き声は聞こえなくなった。どこに行ったのかな？ 数年前までは平木の畑にいるうぐいすの鳴き声はよく聞こえていた。か、最近ではめっきり減っている。以前のように復活させたものです。  
平井雅博



1月中旬早朝、6時過ぎでも辺りは真っ暗闇でしたが、最近日は昇りかけて薄明りがさすようになり、「春が近づいてきてるんやなあ…」とちょっと嬉しかったり。でも、夏になったらなつたで、「アチ〜ッ。何でこんなに暑いねん！」とブーたれてる自分が容易に想像できて、人間って勝手な生き物だなあとしみじみ思います。あ、ひょっとして私だけ(爆)? (中西)

知る人ぞ知る隠れ家レストラン



癒しの森のガーデンカフェレストラン Alice  
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626  
TEL 078 (904) 2603  
パースデーケーキをお宅までお届けします。  
(山口町内 無料配達いたします。)

創業昭和八年  
北福畳店

西宮市山口町船坂702

TEL 078-904-2660



西洋料理 船坂  
西宮市山口町船坂字北谷216番地  
Tel&Fax: 078-903-1158  
<http://www.seioryori-funasaka.com>  
HPに最新情報掲載しています。

## 船坂とまちづくり・活性化 よもやま話（その2）

### 行政頼みではなく 地域の力で

新) まちづくり・町興しなどは、「最後はやっぱり人の力」ということですが、市町村などの行政がまちづくりに効果的に関わる方法はあるでしょうか。

山) 国の政策で地方自治も変わり始めるので、地域ごとに交付金のような形で予算配分して地域ごとに使わせる行政がでてくる可能性はあります。財政のスリム化が目的でしょうが、やる気がある人のいる地域にとっては面白いかもしれません。

新) 自分の生活や仕事が忙しくて、まちづくり活動に時間をとる余裕のない人がほとんどなのが現状だと思うのですが、若い方が中心のまちづくり地域もありますか？



山さんにインタビューする船坂新聞編集委員

山) 30～40代で頑張っている熱い人たちがいるところもあります。年代は様々ですが「行政の援助はいらない」と言っているところが元気です。また、行事の参加で一緒に飲み食いすることで繋がっているところ、宴会があるところほどすごく元気（笑）。

新) そんな元気なところでも定住人口増に結びついてはいないのだから、まちづくりは本当に困難なことなんでしょうね。

山) 困難です。ただ、地元で雇用を作っていわゆるIターンの移住者を増やし、人口の半分以上が移住者というところもありますが、それもいいのかどうか評価が分かります。また本音として、たとえば農業をしている高齢者の人が都会で暮らす会社員の子供らに「大変だから無理して帰ってこなくていい」と言っているケースもじつは多いのです。人口が増加しただけで喜ぶのは税収の増える行政だけです。人口が増えてほしいと思っている住民が実際どれだけいるのかをよく把握したうえで、まちづくりの方向性を考えることが大事です。

新) 船坂は自治会を筆頭に小学校跡地の管理運営やビエンナーレなどが行われていますが、それらを通じて地域住民同士の交流は少しずつ深まってるかなという感じはあります。

### 人口増よりも居住者同士の交流が大切

山) 私も人口増加よりは住んでいる人たち同士の交流、コミュニティを深めるほうの「地域活性化」が大事だと考えています。そこで「観光」の役割ですが、「～を介して」という意味合いで、観光客と地元の人との関わりよりも、イベントの企画の準備段階で地元住民同士の人と人の関わりを深めるところにあります。昔からの住民と引っ越して来た住民との間には溝が必ずあります。学問的にも、溝が無いという研究は聞いたことがありません。むしろ、溝を前提としながら、その溝を少しずつ埋めるような住民同士の関わりを深めていくための知恵や工夫が大切です。そして、この点が多くの研究者の関心でもあり

ます。

新) ビエンナーレについて運営側の藤井達矢さん(現代美術家。武庫川女子大学准教授)に何か聞いてみたいことがあるとお聞きしましたが。

山) 藤井先生はアートでまちづくり、の立場で関わっていると思います。学問的には、人が外から見に来る目的は2つあって、(1)見たことが無いもの(芸術作品)を見て、驚きたくて来る。(2)見たことが有るものや知っているもの(田園風景等)を見たくて、再確認しに来る。それが両方とも備わっている点がビエンナーレの特徴だと思います。これは意外な組み合わせであり、そこに芸術的な魅力もあると思いますが、同時に不協和音的な齟齬を感じる人もあるのではないかと思います。特に、地元住民の方々が、どのように感じているのかが気になりますね。まちづくり研究の観点からは、地域に馴染ませるための工夫がもう1段階あると思いますが、そこをどうされるかお聞きしたいですね。地域への馴染み具合でいえば、人によっては違和感を感じたりしっくりこないという人もきつといると思いますが、そこをどのように接続していくのか、皆が納得するような物語が生まれてるかどうか興味深いところです。例えば、いきなり遺跡が発見されても突然出現したものだから、地域の人には遺跡そのものには全く愛着がないので、それをまちづくりに使うのは難しい。それらを接続する接着剤のような物語が必要です。

### 船坂には新しい魅力がいっぱい

新) 将来の船坂の理想像として何か思っていたりするところはありますか。

山) まだ住んで1年半なので、将来の姿まで考えるのは難しいですが、今は不便をほとんど感じていませんし、星はきれいだし、野菜を時々いただいたりして喜んでます。不満はゼロですね。

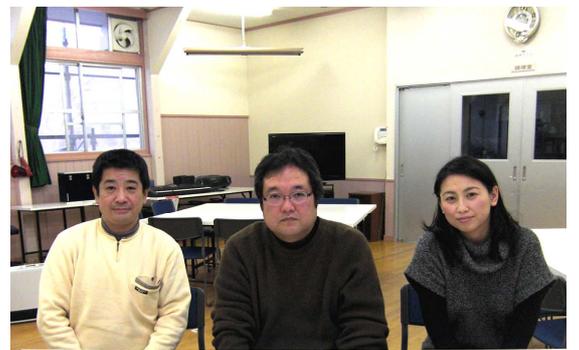
新) 田畑に新しい家が建ちはじめて自然の風景が少なくなるとしたらどう思われますか。

山) 船坂の価値が半減すると思います。自然が残っているのが船坂の魅力でしょうから。

新) 船坂では空き家問題も今後多く発生してくると思われます。今でも船坂に空き家があっても貸せない、譲れないということがあります。

山) 空き家問題はとても難しいと思います。帰りたくてもすぐには帰れない人もいますし、それでも親の畑や家には思いがある。その思いがなくなると寂しい社会になってしまいます。ゆっくり時間をかけて自然な流れを待つことが結果的には良いと思います。でも、船坂に住みたいと思う人はけっこういると思いますよ。需要はあります。私が船坂に引っ越したと聞いて、うらやましがっている同僚の教授も多いです。私自身は、緑豊かな静かな船坂に来れば、執筆活動が進むと思いましたが、子供が元気でうるさくなって、思ったほど進まないのはちょっと見込み違いでした(笑)。

新) 「船坂での暮らし」に需要はある、と明るいお言葉を頂戴しました(笑)ので、これで終わりとさせていただきます。山さん、ご協力本当にありがとうございました。



(編集委員：池田・鮫貝・塩貝・中西)